革命

第3号　2頁　20円
毎月1日15日発行
発行所
東京都豊島区西池袋3-4-2
現代社
電話　東京(983)3429
振替口座東京一142518
編集発行人　田中五郎
購読料
6ケ月12回送料共300円

万国の労働者団結せよ
日本社会主義青年同盟
全国学生班協議会解放派

佐藤のベトナム反革命戦争介入に巨大な一撃！

世界を揺がせた羽田、10月8日

全学連・全国反戦、血の決起

〈虐殺〉が結んだ国際連帯

反革命の象徴＝南ベトナムの砦が火柱を上げた時、労働者革命はその永い〈原罪〉の終りを告げた。その火柱は、一切の圧民的外皮、民族的約束の中に埋れてきた労働者階級の最高の戦闘性をあらわした。かがみ込んだ反革命の軍隊＝公安の暴力装置＝機動隊の警棒は、ベトナムへ向けられている全世界の革命的人民に対して、なにとりも増してリアルな連帯を呼びかけ、その心臓を結んだ。日本革命の第一撃は、同時にひとつの世界革命への指標であった。

血の高速一号線―逃げまどう機動隊、

佐藤首相の訪ベト直前に計画された全学連の主力部隊は、羽田空港（M1闘争とも名づけられた）を目指して、高速一号線を進んでいた。東京各区反戦の諸勢力は、ヘルメット・棒・旗・プラカードを手に、一路羽田へ。

首都圏下の無数の機動隊を強行突破した、「社青同」の旗が翻る。「社青同」の機動隊は、「全学連」の先頭部隊を追撃した。「社青同」の旗が翻る。「社青同」の機動隊は、「全学連」の先頭部隊を追撃した。

「全学連」の先頭部隊は、「社青同」の旗が翻る。「社青同」の機動隊は、「全学連」の先頭部隊を追撃した。

十・二二国際反戦斗争を全国ゼネストの大衆実力斗争で斗いぬけ

―十・八を突破口とし大胆に前進せよ

日本プロレタリア人民の最先端の闘いを進めている反戦青年委員会を全国的に、十月八日、全学連は、ベトナム全学連の闘いを進めるとともに、十・二二国際反戦斗争を、ベトコンの客観的要請に応えて、全国的に全学連に対して